

整備事業評価書

(都道府県名:福岡県)

政策目的	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アーイ	成果目標 の平均達 成率	評価対象 地区数のう ち、都道府 県が事業 実施主体 へ改善指 導を必要と した地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必 要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
産地競争力 の強化	2	0	2	50.0%	1	有	<p>・筑前あさくら農業協同組合の乾燥調製貯蔵施設では、本事業により整備した乾燥設備の活用による品質向上や事業実施主体による高温耐性品種への誘導により、目標を達成することができた。今後も実需者に求められる品質をめざすため、品質向上の取組を支援していく。</p> <p>・デリカフーズ株式会社の集出荷貯蔵施設では、全出荷量に占める契約取引の割合の目標及び基本契約を締結している生産者と中間業者の取引数量の目標、ともに未達成となった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外食需要が大幅に減少したことが目標達成に結びつかなかった外的要因もあるが、目標達成に向け今後も継続的に指導していく。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し、50.0%であり、目標は達成されていない。</p> <p>このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け、要因の分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成地区に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。</p> <p>なお、福岡県が改善指導を必要とした地区(達成率90%未満)については、以下の1地区である。</p> <p><参考:成果目標未達成地区の概要></p> <p>【野菜】1地区</p> <p>・「当該品目の生産者の全出荷量に占める契約取引割合の増加」及び「基本契約している生産者との取引数量を増加」を目標に、だいこん、キャベツ、レタス、トマト、長なす、長ねぎ、小ねぎ、水菜、その他野菜の集出荷貯蔵施設、青果物流通拠点施設、配送加工施設及び配送施設を整備した1地区について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、更に1月に二度目の緊急事態宣言が発令されたことで、主要な販売先である外食産業にて大幅に需要が減少したことから出荷期間を通した安定的な数量確保ができなかったため、いずれの成果目標も未達成となった。</p>

(注) 1. 「成果目標の平均達成率」欄は、要綱別紙様式2に記載された率について確認の上、転記する。

2. 「都道府県による総合所見」欄は要綱別紙様式2に記載された内容を確認の上、転記する。